

こうれん ふくい

も く じ

第29回福井県公民館前期セミナー……………1～3

特集：コミセン化して、どうかわった！？……………4～5

平成30年度表彰受賞者・広報紙コンクール受賞館……………5

新コーナー：わがまちの「イ・チ・オ・シ！」……………6



第29回福井県公民館前期セミナー報告

若狭公民館の事例と成功の秘訣

平成30年7月5、6日 敦賀市栗野公民館 参加者109名

第29回の前期セミナーでは、今年3月に第70回文部科学省優良公民館表彰で最優秀館に選ばれた沖縄県那覇市の若狭公民館館長の宮城潤氏を講師としてお招きし、1日目は講演形式での若狭公民館の取り組み事例等の紹介、2日目はワークショップ形式で若狭公民館式の事業への取り組み方「企画づくりのじゃばら手帳」を活用した新規事業の立案を行う予定でした。

しかし、西日本を中心に大きな被害をもたらした西日本豪雨の余波が福井県下にも影響を及ぼし、1日目の夕方からその対応のため複数の参加者が職場に戻り、2日目のワークショップは中止することとなりました。ただ、会場に残ることが可能であった一部の有志らを対象に、宮城館長が2日目のワークショップを午前中のみ実施してくださいました。少ない人数で、短い時間ながらも、4つのグループが企画づくりに取り組み、最後は発表、投票まで行うことができました。

◆1日目の講義 「若狭公民館の事例と成功の秘訣」 について

①地域の概要

那覇市は人口約32万人、小学校36校、中学校17校、公民館は7館。そのうち若狭地区は人口約3万人、小学校6校、中学校は2校ですが、各地区全部に公民館があるわけではないので、隣接地区を含めると若狭公民館が対象とする人口は約4万人です。地域の特色として、沖縄の海の玄関口で、戦後の埋め立て開発が盛んに行なわれた土地であり、新と旧が混在しているそうです。戦争で全て焼けてしまったため既存のコミュニティが無く、自治会加入率が15.1%とかなり低いと聞いて、沖縄は地域のつながりが強いという個人的なイメージとは様子が違うように感じました。

また、貧しい家庭が多く生活保護率6.2%（那覇市3.2%。全国平均1.5%）と高めで、それに加えて地区内に歓楽街があり夜間保育施設数が全国トップクラス、さらに外国人留学生が多いというところで、地域につながりのない一人親世帯や、単身者が多いことが自治会加入率が低い一要因と考えられるそうです。

若狭公民館が力を入れている取り組みとしては、情報発信に重点を置き「自分から情報を求めている人」の目にも止まるよう、新聞販売店の協力を得て新聞に折り込んでもらったり、中学校の全児童に配布したりと、様々な手段を用いて工夫しているということでした。館のホームページや、フェイスブックを見るとかなりの情報量があり、細かに発信されている様子が見てとれます。参考になることでしょう。

②若い人に公民館に来てもらうために

若い人は公民館自体を知らないことが多かったことから、おもしろいイベントを開催している人を講師に迎えイベント企画ワークショップを開催し、固い公民館のイメージを柔らくすることに取り組んだそうです。

その様な動きの中で生まれた企画に『おかず一品持ち寄り朝食会』というものがあり、「お金をかけず、簡単に、無理せず」をモットーに10年以上続いているそうです。いわゆる、ゆるい企画であることが長く続いている秘訣であり、10年以上続けていると、独身だった人が友を連れ、妻を連れ、子連れ・・とつながりが広がって、今は子育て情報の交換の場へと発展を遂げているそうです。

③公民館をワクワクする楽しい場所に

「子どもの頃、夏になると現れた怪しいおじさんの公園映画上映会がとても楽しみでワクワクした。自分もやりたい」と相談がありました。そこで公民館がつなぎ手となり、映画配給会社などとの連携やボランティアの募集を経て、野外上映会である『うみそら上映会』が定期的に行なわれるようになりました。

また、子どもの居場所づくりや体験活動の機会づくりとして『わかさ妖怪さんぽ』を開催。妖怪を切り口に地域の古い場所や伝承地を巡ったり、その地にまつわる妖怪を自分で描いたり紹介したりする事業で、子供を中心に公民館に足を運んで楽しんでもらうことに取り組んでいるそうです。

④とりまく環境の変化

こうした活動が続いているうちに外部から企画の持ちこみが来るようになったそうです。

【無料英会話教室 ELIPO】自らが不良児だった運営者が英語を通して学ぶ意欲を作るきっかけになった経験から、沖縄の子ども達に学ぶ意欲を持ってもらうきっかけづくりの場として開講。【土曜朝塾】2時間の学習支援+学生企画の授業を、キャリア教育専門家の

協力を受け、大学生らが主体となって運営を行う。

⑤新たな地への進出 パーラー公民館

公民館がある若狭地区以外に隣接する曙地区も若狭公民館の対象区域があったが、どうしても公民館から遠く利用者が少なかったそうです。そんな中、曙地区でまちづくりに関わる方から



「曙地区にも公民館が欲しい」と相談がありました。もちろん公民館を新たに設ける資金などはないが、戦後の青空公民館をヒントに、パラソルと黒板で出来た机を公園に設置してパーラー

公民館を作ろうという試みが始まりました。初めは集まる人数は少なかったものの、少しずつ人が増えてきて、日中はお年寄りや未就学児を連れのお母さんが顔を出してくれるようになり、夕方には小学生達が遊び場にするようになったそうです。

人が集まったら何かができるということで『ものづくり講座』を開講してみたり、技術を持つ人にお手伝いいただき、カメラ、脚本、演出、出演の全てを自分達で行い映画を作る『近所映画クラブ』という活動をしたり、また図書館が無い地域だったので移動図書館の立ち寄り場所になったりと、徐々にその活動の輪を広げつつあるそうです。

このように、多様な地域住民の状況を把握し、地域課題の仮説を立て、ユニークかつ創造的なプログラムで取り組むようにしているとのことでした。

「公民館は『つどう・まなぶ・むすぶ』が出来る場であればどこでも良く、建物は必要でない。重要なのは、そこで何が生まれるか、何が出来るか、誰とつな

がるかということだ」とおっしゃっていました。

⑥人が集まりなくなる場所の

つくり方と育て方

『わかさ式企画づくりのじゃばら手帳』

とても難しい情勢から徐々に拡大している若狭公民館の活動の大きな要因は、その企画力にあると感じました。企画の根本としては、ロジックモデルという考え方で企画づくりを行っているそうですが、口で説明するのは難しいので、このノウハウを自分たちはもちろんのこと、企画づくりをする人の一助となるようにと『わかさ式企画づくりのじゃばら手帳』が作られました。その中のキーポイントとして、「課題と知っている事は本当に課題なのかを再考する」、「誰が※ステークホルダーなのか熟慮する」、「※アウトカムや※インパクト評価も想定する」とのアドバイスがありました。

「うちの公民館は何も無いと言う方がいらっしゃるが、公民館に資源は十分あると思う。見つけ出し、どう活用するかが大切」とも語っておられました。

※ステークホルダー…関係者（特に利害関係者を指す）

アウトカム…実社会に与えた成果や影響
インパクト評価…社会に与えた波及効果



ふりかえりシートより

- ◎ 宮城さんの話を聞いて、公民館は講座を開講するだけでなく、何かのきっかけで人を集めて何かを開くことができる、いろんな可能性を秘めていると感じました。
- ◎ 公民館でいろんな事をしないとけないと思いがちですが「何もしないで…」という発想から、住民の皆さんのやりたい事が引き出せる事があるんだと、はっ！と気づきました。
- ◎ 企画を立てるにおいて、データ収集をしっかりとすること、そして先に未来像をイメージすることなど、自分の企画づくりに足りなかったものがよくわかりました。評価をその都度行うこともなかなか難しいですが、必要であると感じました。
- ◎ 企画づくりにあたり、企画への想いをもって、課題設定をよく考えていくことの大切さを学びました。実践にそって考えていくことができたので今後活かしていきたい。
- ◎ とてもしっかりした信念と考え方、情熱にもとづいたすばらしい取り組みのお話、とても心に残りました。やはり若い人の力はすごいですね。また、心新たにがんばりたいと思います。
- ◎ 4月から主事になり、最初は理想を持って入ってきたものの、目の前の現実とのギャップに絶望していました。でも、小さなことに悩まされるのではなく、「出来る可能性」へ向けて動いていこうと思える様になりました。
- ◎ 公民館職員として求められていること、市民が求めるものを踏まえて自分がやりたいことをするのがモットーですが、それに加え、行政との整合性、そして行政や上への説得性が必要不可欠であるとおっしゃったことに強く印象を受けました。

特集： コミセン化して、どうかわった！？

取材日 平成30年8月8日（水）

会場 坂井市春江中コミュニティセンター

ゲスト 坂井市三国コミュニティセンター センター長 山本 達雄 氏
坂井市春江中コミュニティセンター センター長 坪川 淳一 氏

坂井市では、平成27年4月1日から26公民館の名称がすべて「コミュニティセンター」に変更となりました。コミセン化から丸3年経ちましたが、公民館時代と比べ、どのような変化があったのか、県公連坂井市理事のお二人に現状を取材させていただきました。

1 なぜ、

コミセン化したの？

坂井市では、合併以降、市民と市が協働してまちづくりを進めていく「協働のまちづくり」を重点施策として推進しています。行政に頼っているだけのまちづくりには限界があります。自分たちの地域に関わることは地域を一番よく知る自分たちで判断し、「自分たちのまちは自分たちの手でつくる」という考えのもと、地域の人たちの知識や能力、経験をまちづくりに活かすため“まちづくり協議会”が設立され、市のまちづくりの最高規範となるまちづくり基本条例が制定されました。また後期基本計画等においてコミュニティセンター化への方向性が明示されたことなどを背景として、コミセン化への検討が行われました。

社会教育・生涯学習の推進と共に協働のまちづくりを更に推進するため、また地域づくり等の幅広い柔軟な活動への支援を可能とするため、公民館はコミュニティセンター化され、地域コミュニティの醸成や

地域づくり活動の促進を図って行くこととなったのです。 った嬉しい悲鳴も聞こえてきます。

2 こんなところが

よくなった！

春江中コミュニティセンターは、コミュニティセンターとして整備された初めての施設であり、坂井市が公民館をコミセン化したねらいが具現化されたセンターとも言えそうです。ガラス張りの明るくオープンな建物、バリアフリー化など地域の皆さんが安全安心に利用できることは勿論、カフェスペースも設置され、誰でも気軽に楽しく利用できるコミュニティ施設に変わりました。

現在、来年4月のリニューアルオープンに向けて準備が進んでおり、旧みにく文化未来館を改修し、そちらに移転する予定となっています。 現在、来年4月のリニューアルオープンに向けて準備が進んでおり、旧みにく文化未来館を改修し、そちらに移転する予定となっています。

リニューアルしてからは、ショッピングセンターや坂井市役所の支所などの施設と隣接していることもあり、複数の入り口からの行き来が自由にできるようになりました。それに伴い、未就学児や子ども達、また講座などの受講を目的としない人達の来館も増えました。利用者の中には「敷居が低くなって利用しやすくなった」、「いつも利用者がいっぱい、使える部屋がなくて困る」などとい

コミセン化の利点としては、条例や計画等で「地域づくりの拠点」として明確に位置付けられた事が第一にあげられます。位置付けが明確



になったことにより、国や県の地域づくり関係事業の予算や情報をスムーズに受け取ることができるようになりました。また、まちづくりパートナーシップ講座やまちづくりカレッジなど、地域づくりを支援する事業も充実され、講座等に活用しやすくなりました。社会教育を推進する上でも、まちづくり協議会と一体となり、地域特色に合わせた事業を効果的に提供することが可能になりました。

3 これからの課題

その反面、所管が教育委員会から市長部局に変わったことによって、行政の窓口としての位置付けも強くなり、より適正・公平な事務処理が求められる多忙を極める日もあります。また以前からの社会教育・生涯学習に関わる貸し館業務や講座の企画運営に加えて、まちづくり協議会の活動そのものが大幅に増えてきました。春江中コミュニティセンターでは、昨年の施設利用団体数は70でしたが、今年は82の団体数になりました。また登録団体の他にも様々な方々が利用されるため、年間の延べ来館者数は7万人を超え、窓口の対応だけでも大変な状況です。これらのことから、職員一人ひとりの作業が多くなっているのが現状です。コミュニティセンターを拠点にした地域活性化を重点目標として、まちづくり協議会には坂井市から多額の予算が助成金として下りてきますが、それぞれの地区に様々な事情がある中で、どう地域を活性化していくか、またまちづくり協議会や区長会と関わりながら、どのようにコーディネートしていくかが今後の課題です。

平成 30 年度表彰受賞者

(敬称略)

全国公民館連合会永年勤続職員表彰

福井市本郷公民館主事	山下 順子
福井市旭公民館主事	竹内 きみえ
小浜市国富公民館主事	矢野 利枝
小浜市中名田公民館主事	吉田 幸子
越前市吉野公民館主事	久島 幸江

福井県公民館連合会表彰

小浜市遠敷公民館主事	高山 幸子
鯖江市豊公民館主事	菱川 美由紀
坂井市鳴鹿第二コミュニティセンター職員	竹内 和美
坂井市東十郷コミュニティセンター職員	石黒 みゆき
若狭町三宅公民館館長	勝見 誓司

表彰式はそれぞれ、第40回全国公民館研究集会東京大会と、第68回福井県公民館大会の席上で執り行われます。

平成 30 年度広報紙コンクール受賞館

A コース

【最優秀賞】福井市木田公民館	『きだより』
【優秀賞】越前市坂口公民館	『夢 navi さかのくち』
坂井市のうねの郷コミュニティセンター	『Noune+ (のうねの郷だより)』
【優良賞】福井市円山公民館	『広報誌えんざん』
若狭町西田公民館	『西田公民館だより』
若狭町熊川公民館	『公民館だより 鯖街道熊川』

B コース

【最優秀賞】越前市服間公民館	『広報ふくま』
【優秀賞】鯖江市北中山公民館	『公民館だより「北中山」』
越前市岡本公民館	『ふるさとおかもと』
【優良賞】勝山市荒土公民館	『あらど公民館だより』
勝山市北郷公民館	『クリエイト』
鯖江市神明公民館	『公民館だより 安全で安心 そして優しい街 「しんめい」』
鯖江市片上公民館	『公民館報「文殊」』

福井市上文殊公民館



わがまちの『イ・チ・オ・シ!!』

～自然が美しく歴史の眠る 福井市上文殊～

【明智神社】

福井市東大味町に明智光秀公を祀る小さな祠があります。その中には高さ13センチ程、烏帽子姿、墨で黒くぬりつぶされた木彫りの明智光秀公座像が奉られています。

光秀公は、弘治2年(1556年)美濃から越前に逃れた際、約5年余りこの地に住んでいました。

その後、足利義昭擁立のため織田信長の臣下となり東大味を去りましたが、信長勢による朝倉攻めや一向一揆から世話になった

村を救うため、柴田勝家・勝定兄弟に依頼し2通の安堵状を出させました。それによって戦禍を逃れた住民は光秀公を「あけつつあま」と呼んで敬慕し、屋敷跡に住む付近3軒の農家は光秀公の木像を守り続けました。しかし、光秀は逆臣とされていたため公にできず、明治19年(1886年)、ようやく祠を建て祀ることが出来ました。三女の玉(細川ガラシャ)は、この地が生誕の地とも云われています。

2020年NHK大河ドラマには『麒麟がくる』が決定しています。これは、明智光秀を主人公にしたものですが、本能寺の変を引き起こした、いわば謀反人に麒麟(王が仁ある政治を行うとき頭上に現れるという聖獣)がやってくるのか?上映が楽しみなところです。

< ～安堵状が保管される～ 無量院普光山西蓮寺 >



先の安堵状が西蓮寺に保管されています。東大味町西方に位置する天台宗のお寺です。

時の朝廷後土御門から「上人」の号を賜った『真盛上人』は越前との縁深く、東大味にも足を留め熱心に説法を説かれ、人々は大変な感銘を受けたということです。帰山となられる時、嘆き悲しむ村人の姿を目の当たりにして、自らの姿を一木に刻み込み形見にして残していかれました。この像は、福井市文化財として指定を受け、ここに安置されています。

又、当寺には、勝家公の木像も安置されています。これは、8代目子孫大阪の柴田徳翁氏によって寄進されましたが、歴史的由緒あるものとして現存するものは全国でも唯一です。

< ～朝倉街道(大手道)を歩く～ >

一乗谷で朝倉氏が栄華を誇っていた時代、都から一乗谷に向かう街道が整備されていました。古書に、「此頃の大手なる由」と書かれていて、東大味の初坂から入る道は大手道として、一乗城下町へ行く正面の道となっていました。上り坂途中で石畳が一部残っています。古人が往来した際は、馬の蹄(ひづめ)の音が静かに響いていたことでしょう。

平成22年(2010年)には案内看板が設置されました。この看板を起点に朝倉街道を散策して、戦国時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



「こうれんふくい」第84号

《発行》 福井県公民館連合会
〒918-8135 福井市下六条町14-1
福井県生活学習館2階
TEL/FAX (0776) 41-4077
E-mail f-kouren@kore.mitene.or.jp

《編集》 広報紙委員会
福井市安居公民館
大野市下庄公民館
鯖江市吉川公民館
福井県公民館連合会事務局

円光 淑美
木原 雄大
福嶋 幸代